

自然豊かなほくの町

安来市立社日小学校 六年 山崎 汰一

ほくの住む町は自然にかこまれたのどかな町です。山も川もあり、家の近くには田んぼや畑もあります。ほくの家のまわりでは、そうした自然がいつも表情豊かに、そして季節ごとにたくさん顔を見せてくれます。ほくはそうした景色が大好きです。

春になると畑のまわりではチョウが飛び、山にはタケノコが生えたりします。おぼあち

ゃんとタケノコ掘りに行。たことがあります。が、頭が少ししか見えなくて、タケノコもまわりの土をこねこねに掘っていくと元気いっぱいの大きな姿を現します。

夏休みになると、朝早く起きて家族と山へカブトムシ採りに出かけたり、川へ行つて泳いだり魚を捕まえたりして遊びます。どちらもとてモワクワクワするのので、夢中になつて遊ぶのでいるうちに、あつという間に時間が過ぎかていつつてしまします。

夏が終わる頃には、春に植えた稲が大きく成長し、稲穂が緑色から金色に変わります。豊かな自然の中ですくすくと成長したお米は立派で、お米がたくさん実った稲穂は重たそうにおじぎをします。金色にゆれる稲のまわりには真・赤なト・ボがたくさん飛びます。寒い冬でもぼくの心はワクワクします。雪が降り、あたり一面が真・白になった。田んぼや畑が太陽の光を浴びてキラキラ輝いているのはびっくりするほどきれいで、思わず寒さを忘れてしまいます。

季節によって変わる色々な景色をながめたり、その季節独特の色々な遊びを楽しむことができます。今の生活は、とても幸せだと思えます。それぞれの季節の自然を体と心で感じ、その時にしかできない体験をすることで、ぼくは心も体も元気になります。もし、ぼくの町から自然がなくなり、ビルやマンションが建ち並ぶ場所へと変わってしまったら、今の幸せはきつとなくなってしまう

うでしよう。

残念ながらぼくの家のまわりでは以前に比べると新しい家が建ったり、新しい道路ができたりにして、自然が少れず減ってきているように感じます。

四年生の時の学習で、木戸川のゴミ拾いの活動をしたことがあります。ペットボトルや缶やビン、何かの容器のようなゴミがたくさんありました。ぼくは身近に平気で自然をこわしている人がいるとわかり、とても嫌な気が

がして、同時に寂しい気持ちにもなりました。また、ぼくは野球をしているので毎朝ランニングをするのですが、毎日ゴミ拾いをしてる近所の方の姿を見て、気持ちがよくなりました。

いつか自分が大人になっても、この豊かな自然と季節をいつも感じながら過ごしていきたいと思います。自然豊かなこのふるさとをいつまでもいつまでもずっと大切にしていきたいと思います。